

# AIイラストも取り入れた 最先端の小説！！

小川菜穂  
&  
森田有紀

こんにちは！小川菜穂と、森田ゆきです。私たちが発表するのは、AIイラストを取り入れた最先端の小説についてです、

「翡翠の翼」の良さを知って、鳥についてや  
AIとの共存を強られる未来について考える機会に



- 例えば20年後の未来、  
AIはどこまで進化しているか？
- 人間の仕事はどこまで減るのか？
- 人間にできること、AIにできることを知る
- 鳥の写真を撮るにはどうすればいいの  
か？

今回の発表を通して皆さんには、(以下スライド読み上げ)

## プロジェクトの全体像

リーフが翡翠の風石にたどり着いたとき、石を守る誰めいた「風の守護者」が現れた。それは巨大な神鳥の姿をしており、リーフに問いかける。

「お前は、なぜ風を取り戻したいのだ？」

守護者はリーフの過去を映し出す。実はリーフの両親は、「風の災厄」を引き起こした張本人であった。

彼らは風石の力を暴走させ、雲海の国を支配しようとしたが、守護者の力によって失敗し、風石が封印された。その結果、風の力は不安定になり、やがて完全に止まってしまったのだ。



① ChatGPTによる小説の生成

② 鳥の写真の撮影、加工



③ 本のデザイン、文章の入力

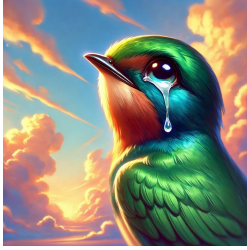
④ 写真、イラストの貼り付け



{なほ}プロジェクトの全体像を説明します。(①～④スライド読み上げ)

{ゆき}特に、この画像のように、背景にイラストを入れたりして、具体的に皆さんに物語のイメージが伝わるように工夫しました。

## 誰をどんなことでちょっとよくするか



翡翠の翼を読み、見ることで・・・

- 鳥の写真を見たい方
  - AIに興味がある方
  - ファンタジー小説を読みたい方
- に新しい気付きと楽しさを与えられる



(スライド読み上げ)

## プロジェクトのきっかけ・理想像

リーフが翡翠の風石にたどり着いたとき、石を守る謎めいた「風の守護者」が現れた。それは巨大な神鳥の姿をしており、リーフに問いかける。

「お前は、なぜ風を取り戻したいのだ？」



守護者はリーフの過去を映し出す。実はリーフの両親は、「風の災厄」を引き起こした張本人であった。

彼らは風石の力を暴走させ、雲海の国を支配しようとしたが、守護者の力によって失敗し、風石が封印された。その結果、風の力は不安定になり、やがて完全に止まってしまったのだ。

### 理想像

さまざまな方にできた本を読んでもいただき 鳥について、AIについて知ってもらおう

### きっかけ

- 鳥の写真を撮りたい
- 完全AIオリジナルの物語を作りたい

菜穂...まず私が、このプロジェクトを始めたきっかけは、鳥の写真を撮りたいと思ったからです。

ゆき...私は、完全AIオリジナルの物語を作りたいと思ったからです。

{ゆき}そんな2人がお互いの興味のあることを合わせて、この本を作ることになりました。

## プロジェクトの成功基準

10人以上の方が本を読んで  
くださり、感想を書いていただくこと

成功基準

### 成功例

15人の老若男女の方が読んで  
くれて、全員がアドバイスや  
感想を書いた。

### 失敗例

2人の若い女性だけが本を読  
み、1人しか感想を書いてく  
れなかった。

{なほ}このプロジェクトの成功基準は、(以下スライド読み上げ) 最終的に目標を達成することが出来ました。

## プロジェクトで具体的にやったこと

### プロジェクトでやったこと①

鳥の写真を撮って  
写真を編集した



### プロジェクトでやったこと②

AIイラストを生成した



### プロジェクトでやったこと③

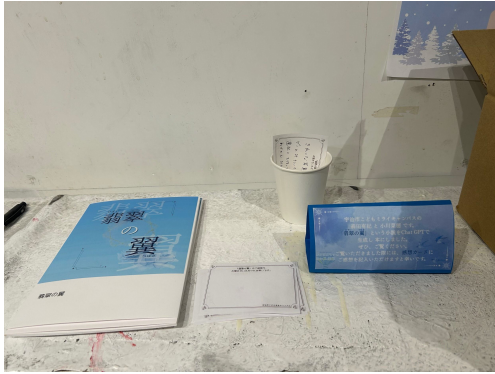
canvaで本を編集した



{なほ}このプロジェクトでは、まず、鳥の写真をとって編集しました。  
鳥がいると思ったら素早くカメラを準備して、拡大します。スピード命。うまく撮れなかった時に備えて何枚か撮ることも大事です。

[ゆき]次に、AIイラストを生成しました。chatGPTは、思ったことが綺麗に形になったので、技術のしんぽは、目覚ましいなと思いました。  
何度も画像を生成するうちに、AIにプロンプトを伝えるときは、キャラの体の色や、画像の構図まで細かく伝えることが大切だとわかってきました。

## プロジェクトに関わった人



- 宇治市の喫茶店
- studioあお

{ゆき}プロジェクトに関わった人は、宇治市の喫茶店さん、studioあおです。具体的な返信は得られませんでした。が、宇治市の喫茶店に、本を置かせていただけないかお願いのメールを送りました。

studio青には、感想カードと一緒に作品を展示し、多くの人に読んでもらいました。イベントの当日には、お店に通りがかった人にも、本を読んでもらいました。

## プロジェクトの結果



結果：成功

- 本が完成した
- 本を読んで、感想を書いてもらった
- プロジェクト結果の説明

{ゆき}本が完成して、目標の 10人に読んでいただくことができたので、結果は成功です。

## プロジェクトを通して学んだこと

学び①

本の編集は楽しい

学び②

鳥の写真を撮るのも楽しい

学び③

AIと人間の共存の仕方を考える必要性

(なほ)プロジェクトを通して学んだことがたくさんありました。

①まず、本の編集は楽しいということです。

②そして、鳥の写真を撮ることも楽しいということです。このプロジェクトをきっかけに、鳥の写真をたくさん撮るようになり、鳥や写真に興味がわきました。

{ゆき}③3つめは、AIと人間の共存の仕方を考える必要があるということです。人間が時間をかけて作るようなイラストや文章を、AIならばすぐに生成できることを体感したので、人は今後AIとどう向き合うべきか考えなければならないと思います。

## プロジェクトで苦労したこと



苦労①：とにかく編集が大変！！！！

苦労②：鳥の写真を撮りたいのに目当ての鳥が来てくれない

苦労③：ChatGPT以外のAIでは、画像をうまく生成できなかった

分かりやすい本にするため、字の大きさを変えて編集した。  
ChatGPT物語のイメージを正しく伝えられるプロンプトを考えた。  
目当ての鳥が来るまで粘った。

{なほ}プロジェクトで苦労したことは、とにかく編集が大変で、鳥の写真がとりたいのに目当ての鳥がきてくれなかったことです。そんな時は、分かりやすい本にするため、字の大きさを変えて編集し、撮影の時は、目当ての鳥が来るまで粘りました。

{ゆき}私は、ChatGPT以外のAIでは画像をうまく生成できなかったことです。このイラストも、よく見ると足が不自然ですよ？

自然なイラストを目指して、ChatGPTに、物語のイメージを正しく伝えられるプロンプトを考えました。

## 今日のプレゼンのゴール



AIと鳥の写真の良さを  
知ってもらいたい

{2人}これで発表を終わります。ご静聴ありがとうございました！